

セキュアエンドポイントコネクタのサポートポリシー

内容

[概要](#)

[ポリシー](#)

[例外](#)

[その他の参考資料](#)

[よく寄せられる質問 \(FAQ\)](#)

概要

このドキュメントでは、セキュアエンドポイントコネクタソフトウェアのサポートポリシーについて説明します。

ポリシー

シスコは、プライベートクラウド管理ソフトウェア、プライベートクラウド仮想アプライアンス、およびセキュアエンドポイントクラウドまたはプライベートクラウドでホストされるセキュアエンドポイントコネクタソフトウェアに関するサポートポリシーを公開しています。

シスコは、各ソフトウェアバージョンのリリースから最低1年間、Private Cloud Administrationソフトウェア、Private Cloud Virtual Appliance、またはSecure Endpoint Connectorソフトウェアのテクニカルサポート(TAC)、バグ修正、および製品機能拡張を提供します。パブリックセキュアエンドポイントクラウドとプライベートクラウドのセキュアエンドポイントコネクタのリリース日は、導入タイプごとに同じコネクタバージョンのリリース日によって異なる場合があります。1年後、このバージョンは、レガシーオペレーティングシステムのサポート用に特別に公開されたコネクタのバージョンを除き、将来のバグ修正や製品拡張に対応できなくなります。サポートされていないソフトウェアバージョンで問題が発生した場合は、新しいメンテナンスリリースまたは最新のリリースで問題が解決するかどうかを確認するよう求められることがあります。

すべてのオペレーティングシステムでのセキュアエンドポイントコネクタのサポートは、ベンダーが公開しているサポート終了スケジュールに合わせて調整されます。拡張サポート対象のオペレーティングシステムなど、レガシーオペレーティングシステムに対するシスコのサポートでは、エンドポイントオペレーティングシステムにアクティブなベンダーのサポートを確実に適用するために、必要なすべての拡張サポート契約を維持することが必要です。

オペレーティングシステムのレガシーバージョンでは、テクニカルサポートを受けるために、特定のバージョンのセキュアエンドポイントコネクタソフトウェアの実行が必要になる場合があります。特定のバージョンではオペレーティングシステムの互換性が維持されますが、すべての新しい製品の機能と、重大なバグ修正のためだけに作成されたアップデートが提供されるとは限りません。Secure Endpointソフトウェアおよびアップグレードパスのテストは、このポリシーで説明されているサポート対象バージョンのみに限定されます。

Secure Endpoint CloudおよびPrivate Cloudコンソールの今後のリリースは、正式にサポートされるSecure Endpointコネクタバージョンの表示とダウンロードのみに制限されます。Secure

Endpoint Private CloudのWebサイトが更新され、サポートされているバージョンのプライベートクラウドソフトウェアのみが表示され、ダウンロードできるようになります。Secure Endpoint CloudまたはPrivate Cloudコンソールのリリースでは、ソフトウェアが正式にサポート対象外になった後、サポート対象外のバージョンが削除される場合があります。

マイルストーン

サポートポリシーの公開
サポートポリシーの発効日

日付
2022年8月4日
2022年9月5日

表1ポリシーのスケジュール

この表は、発表されたサポートポリシーのマイルストーンの概要を示しています。

このサポートポリシーの公開時点で、[セキュアエンドポイントコネクタのバージョンに関するサポート終了のお知らせ](#)は、このサポートポリシーの影響を直ちに受ける特定のセキュアエンドポイントコネクタのバージョンについて詳述するためのものです。

例外

- プレリリースバージョン
ベータ版や初期のフィールドテストなどのプレリリース版は、標準のサポートポリシーに従わず、ベータ期間中に提供されるサポートの対象となります。
- 単回除去
シスコはこのケースを回避するためにあらゆる試みを行いますが、現場で発生した問題の重大度や頻度に応じて、リリースされたバージョンのセキュアエンドポイントコネクタを取り外したり、セキュリティの問題に対処したりする必要がある場合があります。この場合、当社は削除し、1)問題に対処する新しいバージョンを提供するか、2)お客様がアップグレードする必要があるバージョンの推奨事項を提供します。コネクタが取り外されると、コネクタのバージョンがダウンロードできなくなったり、コネクタポリシー設定でアップグレード用に設定できなくなったりすることがあります。これらの変更には、Secure Endpointコンソールまたはプライベートクラウドソフトウェアのスケジュールされたリリースが必要になる場合があります。できるだけ早く利用可能になります。
- オペレーティングシステムの互換性
コネクタ機能の中には、インストールされているオペレーティングシステムの互換性や機能に依存するものがあるため、最新のオペレーティングシステムまたはパッチレベルへのアップグレードが必要なものもあります。そのため、オペレーティングシステムのすべてのバージョンでSecure Endpoint機能をすべて使用できるわけではなく、コネクタのすべての機能を使用できるようにするにはアップグレードが必要になる場合があります。
- 旧バージョンのコネクタ
レガシーオペレーティングシステムまたは古いオペレーティングシステム用のSecure Endpoint Connectorリリースでは、技術的な制限により、一部の機能がバックポートされない場合があります。これらのオペレーティングシステムのコネクタバージョンのサポートは、重要なメンテナンスリリースとパッチに限定され、新機能のサポートは保証されません。

その他の参考資料

[Cisco Secure Endpoint Windows Connector OSの互換性](#)

[Cisco Secure Endpoint LinuxコネクタOSの互換性](#)

[Cisco Secure Endpoint Mac Connector OSの互換性](#)

[セキュアエンドポイントのリリースノート](#)

[Secure Endpoint Private Cloudリリースノート](#)

よく寄せられる質問 (FAQ)

Q：サポートポリシーはいつ有効になりますか。

A：このサポートポリシーは次の日に発表されました。2022年8月1日、2022年9月1日から有効です。サポートポリシーの元のバージョンは、現在のバージョンに置き換えられます。

Q：サポートポリシーでサポートされなくなった後も、セキュアエンドポイントコネクタは引き続き機能しますか。

A：はい。Secure Endpoint Connectorは、引き続き機能し、Secure Endpoint Cloudまたはプライベートクラウドに接続してサービスを廃棄しますが、新しいリリースで利用できる機能が不足しているため、容量が少なく動作する可能性があります。また、対処されていないセキュリティ上の問題がある可能性もあります。場合によっては、古いコネクタのバージョンが機能しなくなったり、Secure Endpoint Cloudと通信できなくなったりすることがあり、Secure Endpoint Cloudの開発が続いているため、技術的な変更が発生したため、アップグレードが必要になります。詳細については、[セキュアエンドポイントのリリースノート](#) 各リリースの最新機能とセキュリティアップデートの詳細が記載されています。最新のコネクタバージョンにアップグレードして、最新の機能にアクセスし、最新のセキュリティパッチを適用することをお勧めします。

Q：サポートポリシーを超えて拡張されたコネクタバージョンにアクセスできますか。

A：お客様の環境にアクティブに導入されたコネクタは、引き続き機能し、Secure Endpoint Cloudに接続されますが、テクニカルサポートの対象とはならず、すべての製品機能とセキュリティ更新プログラムが提供されるわけではありません。サポートポリシーで定義されているサポートが終了したコネクタは、ダウンロードできなくなります。また、Secure Endpoint Cloudおよびプライベートクラウドコンソールの今後のリリースで、コネクタポリシー設定による導入ができなくなります。サポートされていないコネクタバージョンへのアップグレード用にすでに設定されているポリシーは、自動的に更新され、設定が削除されます。従来のサポート対象オペレーティングシステムでは、特定のバージョンのSecure Endpoint Connectorソフトウェアが従来のオペレーティングシステムと互換性を持ち、テクニカルサポートを受け続ける必要があります。

Q：以前にダウンロードした古いバージョンのコネクタを展開できますか。

A：はい。すでにダウンロードされている古いバージョンのコネクタが導入されている可能性があります。Secure Endpointコンソールからすでに削除されているバージョンのコネクタはダウンロードできません。サポートされていないバージョンの導入は、新しい製品機能や重要なセキュリティパッチが不足しているか、最新のクラウドテクノロジーと互換性がなくなっている可能性があるため、推奨されません。また、テクニカルサポートは提供されません。これらのコネクタのテクニカルサポートを受ける前に、現在サポートされているバージョンへのアップグレードが必要になる場合があります。

Q：サポートされていないバージョンのSecure Endpoint Connectorが環境に導入されているかどうかは、どのようにして確認できますか。

A：セキュアエンドポイントコンソールには、サポートされていないコネクタを見つけて表示する方法がいくつかあります。 [Computer Management]ページ([Management] -> [Computers])では、展開されたコネクタリストを手動でフィルタリングして、サポートされていないコネクタを表示できます。 [Computers]ページで[Filters]を展開し、[Connector Version]ドロップダウンメニューから[Unsupported]を選択します。サポートされていないコネクタバージョンを実行しているすべてのデバイスが表示されます。また、[ダッシュボードの概要(Dashboard Overview)]タブの[コンピュータ(Computer)]パネルには、ご使用の環境でサポートされていないコネクタの割合を示すグラフが表示されます。[End of Life (サポート終了)]をクリックすると、フィルタリング済みの[Computer Management (コンピュータ管理)]ページに自動的に移動し、影響を受ける特定のデバイスが表示されます。

Q：ベータ版または初期のフィールドトライアルコネクタのバージョンは、サポートポリシーでどのようにサポートされますか。

A：Secure Endpointプレリリースソフトウェアの導入は、各チームによってサポートされ、参加中のそれぞれの契約によって管理されます。ベータ版の終了後に新しい機能にアクセスするには、手順に従って、正式に公開されているコネクタバージョンに移行する必要があります。プログラムを管理するチームによって明確に定義されていない限り、ソフトウェアのプレリリースバージョンに対するテクニカルサポートはありません。

Q：Secure Endpoint Private Cloudコネクタのバージョンにはどのような影響がありますか。

A：このサポートポリシーは、セキュアエンドポイントクラウドおよびセキュアエンドポイントプライベートクラウドに適用されます。 Secure Endpoint Private Cloudのリリース期間が異なるため、各導入モデルで利用可能なコネクタバージョンのリリース日はSecure Endpoint Cloudと異なる場合があります。ただし、Private Cloudコンソールのコネクタソフトウェアのリリースに基づいて、同じコネクタサポートのスケジュールが適用されます。

Q：このサポートポリシーの影響を受けるコネクタのバージョンはどれか？

A：サポートポリシーは、セキュアエンドポイントクラウドまたはセキュアエンドポイントプライベートクラウドで利用可能なWindows、Mac、Linux、およびモバイルデバイスのオペレーティングシステムを含むすべてのセキュアエンドポイントコネクタに適用されます。このサポートポリシーの影響を直ちに受けるコネクタのバージョンは、 [セキュアエンドポイントコネクタとプライベートクラウドのバージョンのサポート終了のお知らせ](#)。

Q：コンソールに古いバージョンが表示されますが、ダウンロードしてインストールできますか。

A：コネクタが正式にサポートされなくなった後、リリースによってコンソールからコネクタバージョンが削除される場合があります。互換性の問題を回避し、最新の保護、製品の機能セット、およびセキュリティパッチを入手するために、新しいバージョンのソフトウェアを選択することをお勧めします。

Q：セキュアエンドポイントコネクタを引き続き使用するには、最新バージョンのオペレーティングシステムを実行する必要がありますか。

A：コネクタのバージョンでは、互換性、すべての機能へのアクセス、またはバグ修正のために、必要に応じてオペレーティングシステムのパッチを適用するか、新しいバージョンにアップグレードする必要があります。これは、頻繁なリリースおよびアップグレードサイクルを持つが、すべてのオペレーティングシステムに適用されるAndroidおよびApple iOSデバイスで共通です。「 [セキュアエンドポイントのリリースノート](#) には、特定のコネクタバージョンのオペレーティングシステム要件に関する詳細が記載されています。

次のWebサイトには、各オペレーティングシステムの互換性に関する追加情報が記載されています。

[Cisco Secure Endpoint Windows Connector OSの互換性](#)

[Cisco Secure Endpoint LinuxコネクタOSの互換性](#)

Cisco Secure Endpoint Mac Connector OSの互換性

Q : Secure Endpoint Private CloudソフトウェアまたはPrivate Cloud Virtual Applianceにはどのような影響がありますか。

A : Secure Endpointプライベートクラウドソフトウェアとプライベートクラウド仮想アプライアンスのサポートスケジュールは、リリース日から1年間のサポートを提供するように調整されています。1年以上前のプライベートクラウドソフトウェアまたはプライベートクラウド仮想アプライアンスを実行している場合は、最新のセキュリティパッチ、製品機能、およびテクニカルサポートを受けるために、最新バージョンに更新することをお勧めします。古いバージョンのテクニカルサポートが必要で、問題が発生する場合は、サポートされているバージョンのプライベートクラウドソフトウェアまたはプライベートクラウド仮想アプライアンスにアップグレードする必要があります。プライベートクラウド上のコネクタも影響を受け、1年間プライベートクラウド上でリリースがサポートされなくなります。製品が影響を受けるかどうかを確認するには、このアドバイザリの「[Secure Endpoint Private Cloudリリースノート](#)」を参照してください。

Q : Secure Endpoint Private Cloudアプライアンスハードウェアへの影響

A : プライベートクラウドアプライアンスのハードウェアは、このポリシーの対象にも影響も受けず、シスコの[サポート終了ポリシー](#)ハードウェアアプライアンスで実行されているプライベートクラウドソフトウェアのみが、このポリシーで指定されたタイムラインの影響を受けます。

改訂履歴

改訂	発行日	注
----	-----	---

2.0	2022年8月1日	コネクタソフトウェアのサポート終了を決定するプロセスを、バージョンベースから
-----	-----------	----------------------------------------

1.0	2020年4月7日	最初の公開
-----	-----------	-------